

## 2. 提案した内容と行政からの回答

### 提案1 関市の魅力的なお店を載せた情報紙を学生が中心に作成。それを入学式に配布する

#### 概要

現在、岐阜医療科学大学では、学生自治会が中心となり、関市のお店情報を作成し、それを新入生に配布しています。この取り組みを、関市全域に広げてはいかげしょう。市内の大学生とサポートする大人が集まり、「チェーン店だけではない、関市の魅力的なお店」の情報紙を作成し、関市の大学、専門学校の新入生全員に配布します。

#### 行政からの回答

関市のお店情報を観光情報などと併せて、大学の学生自治会に作成、配布していただき、それに対して市民活動助成金で支援します。

### 提案2 若者向けにアプリ、メールでの関市のお店情報の配信を（あんしんメールを活用）

#### 概要

あんしんメールの選択項目の一つとして、「若者向け、市内の魅力的なお店の紹介」を追加します。定期的にお店の記事が配信される仕組みです。配信される情報は、提案1などで作成したもの等が考えられます。この情報を配信するための学生チームをつくることも有効だと考えます。

#### 行政からの回答

若者に向けた関市紹介アプリなどの開発支援を、市民活動助成金を使ってできるのではないかと考えます。あんしんメールを使ったグルメ情報の発信について積極的な考えではありません。

## II. チーム「KJB（観光循環バス）計画」

### 私たちが目指す関市のまちづくりの宣言文

私たちの目指す姿は、「たくさんの観光客が立ち寄りやすい」という関市です。

そのために、「公共交通機関の観光客に対する不便さ」という課題に取り組むことにしました。

課題の原因は「観光向け公共交通機関がない」、

「観光地のPRが足りない」、

「観光客の受け入れ体制が整っていない

（観光客の集約方法ができていない）」ですが、

今回は特に、「観光向け公共交通機関がない」に対して取り組みます。

## 1. 取り組んだ活動

### 「路線バスで板取の旅

～関シティーミナルから板取への日帰り旅行～

日時：平成28年6月20日（月）～30日（木）平日のみ

関シティーミナルから出ている路線バスを乗り継いで板取へ日帰り旅行をするモデルコースを作成。期間内は通常往復600円かかるところ400円でバスに乗れる。

モデルコース 2パターン

①板取温泉・モネの池コース ②21世紀の森・モネの池コース  
《実施結果》

・多くの反響があった。電話問合わせ件数合計30件超。

・乗車人数 100名（チケット売上枚数）

・中日新聞に大きく掲載されました。

○アンケート 回収数39通

#### 成果

- ①60代以上の女性に路線バスで観光に行きたいというニーズがあることがわかった。
- ②「期間」を決めたことが良かった。

#### 課題

- ①路線バスで行くことを理解してもらうことが難しかった。
- ②路線バスの乗り方が分からない人が多い。
- ③岐阜バスとの連携。

## 2. 提案した内容と行政からの回答

### 提案1 路線バスを使った観光モデルコースをつくる

#### 概要

今回の板取ツアーのように、現在既に走っている路線バスで観光できるためのモデルコースを作ります。季節ごとに、板取だけではなく、上之保や武儀へのツアーを作ります。例えば、桜の時期は寺尾、紫陽花の時期は板取、ゆずやゆず湯の時期は上之保等。

対象者は市民だけではなく、長良川鉄道とも連携し、外からの観光客にも広げます。

住民目線でツアーが組めるように、市民協働課、観光交流課、長良川鉄道そして市民が協働でツアー内容企画する検討チームを作ってください。

### 提案2 路線バスで観光地に行くことを呼び水に、路線バスの乗り方講習会を開催

#### 概要

提案1の路線バスで観光の旅を企画する時、最初の1日目に、案内人も付いての路線バス乗り方講習会を実施。

#### 行政からの回答

実施予定。今回試行で行った板取への路線バスの旅は、想定をはるかに超える反響がありました。今回の西ウイングをはじめ、東ウイング、関市街地でも季節ごとのルートがあると良いとの回答もありましたので、観光交流課と協議を行いながらモデルコースを作成します。